

「規制改革集中受付月間」に対応した規制改革要望

[新規要望・再要望] (2003年6月27日)

当連合会では、わが国における規制改革の進展を図るため、会員企業からの個別具体的な規制改革要望を取りまとめているほか、人材育成、都市再生、産学官連携推進、関西国際空港の利用促進等、関西経済活性化のための諸活動を展開する中で、具体的な規制改革課題の検討を行っている。

今般、総合規制改革会議並びに構造改革特別区域推進本部が「規制改革集中受付月間」を設け、規制改革について広く各界からの提案・要望を受け付けられるのに対応し、当連合会は、最近の活動成果を踏まえ、別添の通り全国規模の規制改革の速やかな実現を要望する。

(規制改革要望事項)

1. 免税品の国際線到着エリアでの販売
2. 税関臨時開庁手数料の廃止
3. 関空の貨物地区内の保税輸送手続きの廃止

(以上 新規要望)

4. 確定給付企業年金における受給権者等の給付減額要件の緩和
5. 確定拠出企業年金における拠出限度額の拡大
6. 工場立地法の生産施設面積、緑地率の緩和
7. 社会人を対象とした大学院教育に関わる大学院設置基準の緩和
8. 「学校法人の寄附行為及び寄附行為変更の認可に関する審査基準」の緩和
9. 外国人の在留資格要件の緩和
10. 国の競争的資金制度の手続き等の迅速化・簡素化
11. 国立大学教員の勤務時間内兼業許可の実施
12. 大学のライセンス対価として株式やストックオプション取得の可能化

(以上 再要望)